

山方地域で約1.2ヘクタールのブルーベリー観光農園を営む小口弘之さんが、安全に育てられたことを県が証明する農業生産工程管理(GAP)制度で、第1号の認証を取得しました。現在、個人での認証は小口さん1人です。小口さんに県GAP認証を受けるきっかけなどをインタビューしました。

■県GAP認証を取得しようと思ったきっかけ

様々な場所に出展していろいろな方と話すたびに、どんな公的認証を受けているかと聞かれることが多くなってきました。ちょうどその頃、JA中央会から県GAPの案内を頂き、県北のこの地域で、第1号の認証を得ることに大きな意義を感じたので、思い切って認証の申込みをしました。

認証を受けるためには、膨大な書類の提出が求められます。まず、過去2年分の作業記録の提出があります。作業の記録は毎日付けていたので問題なく提出することが出来ました。ほかにも提出や開示する書類が非常に多く書類の作成に苦労しました。また、土壌のチェック、作業所の場所や衛生管理、農薬の安全対策の記録など多くの項目が採点されました。審査を受けるに当たって不明な点は、普及センターの協力を頂き準備を進めました。

■認証を得てさらなる展開を

農業をビジネスにするためには、このような公的認証を得ることがひとつの価値観、当たり前時代になってくると感じています。私は以前からブルーベリーを栽培して売るだけでなく、6次産業化を目指してきました。この県GAP認証を受けて初めて加工品などを軌道に乗せるスタートラインに立てたと思っています。経営する農園も、3年連続で1,000人を超えるお客様に来園して頂き、都市部からの交流人口の増加、栽培するブルーベリーのブランド化に繋がったと思っています。



▲ブルーベリー観光農園



▲小口夫妻。農園カフェのデッキにて

■常陸大宮高校生とともに

2015年、農園の一角に常陸大宮高校ファームを造り、高校生と一緒に農業に取り組んでいます。常陸大宮高校ファームでは、高校生がブルーベリーの木の手入れや摘み取り、そして収穫したブルーベリーを使用して6次産業化を勉強しています。去年は、常陸大宮高校商業科が設立したHIOKOホールディングス株式会社の生徒が「ブルーベリーグラス」を商品として開発し、自分たちで原価計算、パッケージデザイン、販売までの全ての作業を行いました。社会人になる前の高校時代に地元産業に関わり、そこから6次産業化を学ぶことが重要だと強く感じています。今、生徒たちは新たな商品を開発して来年の販売を目指しています。

■6次産業化・農園内にカフェを併設

2016年、農園内にカフェを併設しました。カフェを開いたのは、以前からの妻の夢でもあり、6次産業化の形のひとつでもあったからです。今は妻と一緒に農園とカフェを切り盛りし、ブルーベリーで農園を年間フル稼働させる体制を整えました。

■GAP認証を得ようと考えている皆さんへ

これからの農業は、誰に作物や商品を購入してもらおうのか、視線を市場に向けてみるのが大切なのではないでしょうか。自身の農園でも、県GAP認証という付加価値を得て、来年からブルーベリーの加工品に力を入れていく予定です。市内の皆さんと一緒に県北地域を盛り上げていければと思います。

GAPとは、Good Agricultural Practiceの頭文字。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。(出典：農林水産省)

集落の維持・活性化を支援

市では、人口減少と高齢化が進む集落の維持・活性化を図るため、高齢化率が40%以上となっている地区に、集落支援員を設置しています。

第5期の集落支援員として9月1日付で32人の皆さんに委嘱しました。

集落支援員は、現状を把握するために地区を巡回し、行政などの関係機関とのパイプ役となり活動をしていきます。

第4期までの設置地区でも、地区の維持・活性化に引き続き取り組んでいます。

今後も地区が抱える課題等を広く把握し、様々な視点で支援活動を展開していきますので、皆さんのご支援ご協力をお願いします。

(敬称略)

地区	支援員	地区	支援員	地区	支援員
塩原	栗田 稔	家和楽	吉成 猛	油河内	皆川 孝
小場	小林 勝男	長田	海老根 裕	小松	桑名 輝美
	五町 義徳	水之沢	相田 満成	吉丸	関 忠
西塩子	横山 正美	下檜沢第1	桑名 繁	入本郷	小林 守
大宮照田	木村 義美	上檜沢	鈴木 清	門井	岸本 薫
舟生	木村 孝吉	高部第1	河西 京子	下伊勢畑	青木 喜一
諸沢西	堀江 敏夫	高部第2	河野 種美	上伊勢畑	瀧田 利男
諸沢東	大森 和子	那賀	塩澤 浩行	檜山	國安 恵子
照山	渡邊 栄子	下小瀬・小玉	三村 喜久男	野田	古田土 栄一
盛金	戸井田 清美	大岩	田澤 佳治	秋田・中居	堀江 一郎
久隆	大森 明	小舟	山口 仁司		



▲代表して委嘱状交付を受ける栗田稔さん



▲会議の様子



■問い合わせ■
地域創生課 地域創生企画室
☎52-1111 (内線383)

夏休み子ども体験講座を開催

夏休み期間の8月1日～24日、大宮・御前山公民館で「夏休み子ども体験講座」を実施しました。この取り組みは今年で4年目になりますが、市内全域から小学生延べ155人が参加し、18講座・22団体の協力を得て、生涯学習や伝統文化などさまざまな体験をすることができました。



書道(大宮)



ヨガ(大宮)



よさこい(御前山)



草木染め(大宮)



生け花(大宮)



パッチワーク(大宮)



茶道(大宮)



きり絵(大宮)



民謡・民舞(大宮)

<体験した感想>

- ・家や学校ではなかなかできない体験ができて楽しかった。また来年もやりたい。
- ・他の学校の友達ができ嬉しかった。
- ・難しいところなど先生がとても分かりやすく教えてくれた。
- ・夏休みに楽しい思い出ができた。



～協力文化協会団体～

大宮手編みクラブ・草木染めクラブ・茨城楽奏会・大宮将棋会・ヨーガクラブ・津軽三味線・江戸千家茶道教室
池坊菊池社中・パッチワーククラブ・池坊中崎社中・常陸大宮吹奏楽団・表千家茶道教室・ひまわりクラブ
常陸大宮きりえクラブ羽金堂本部・きりえ愛好会・竹の子クラブ・大正琴薫風・サロン花工房・コスモスの会
書道クラブ・書道第2クラブ・御前山ソー RAN

8/22

泉坂下遺跡に学ぶ陶芸体験講座

大宮公民館大ホールで、陶芸家の菊地弘さんを講師に迎え、陶芸体験講座を開講しました。

市文化協会に加盟している陶芸クラブの皆さんのご協力を頂き、市内の小学生35人が参加。国の重要文化財に指定された「泉坂下遺跡」について講話を交えながら、お面を作成しました。粘土の扱い方や顔のパーツの付け方など、講師の話に真剣に耳を傾けていました。



▲どんなお面が出来たかな？

8/25

常陸大宮市史セミナー「古代・中世の常陸大宮」

市史編さん事業の調査内容を市民の皆さんに紹介するため、新たに常陸大宮市史セミナーを開講しました。第1回目の講座では、市史編さん委員長である茨城大学の高橋修教授から、岩瀬地区に伝承が残る鎌倉武士・岩瀬与一太郎の実像に迫る講演をいただきました。講座には市内外から130人を越える方々が来場し、大変盛況となりました。

次回は来年1月、市内の城跡に関する講座を予定しています。



▲市の歴史に関する貴重な講演をいただきました

9/17

第10回 お化け南瓜コンテスト

お化け南瓜コンテスト（主催：かざぐるま出荷会）が、緒川物産センターかざぐるままで開催されました。今年の猛暑の影響を受けて、出展数と重量の部では記録が去年には及びませんでした。生産者の皆さんの愛情がこもった南瓜がずらりと並びました。重量部門で優勝したのは、大串昇一さんの77.15Kg。イケメン部門は、坪四郎さん、ユーモア部門は、長山とみさんが優勝しました。

出展された南瓜は、東京夢の島熱帯植物館などで展示されます。



▲お化け南瓜の海の様です

9/19

御前山中学生が課外授業

檜山地区谷津坪にある御前山ビオトープで御前山中学校1年生19人が参加して自然観察会（主催：御前山ダム環境センター）が開かれました。生徒たちは、虫取り網を使って昆虫や水生生物などを採集。生物多様性センターの佐々木泰弘さんから、採集した昆虫などの特性や環境について学んだ後、初めて見る虫などをじっくり観察して、観察ノートにまとめていました。御前山ダム環境センターの青山民雄代表は、「身近にある自然を子ども時代に体験させてあげたい。市内の小中学校にも自然観察会を広げたい」と話していました。



▲みんなで記念撮影

9/16



お宝発見

市のお宝発見事業の第2回を、32人の参加のもと実施しました。

午前、緒川地域の小瀬富士および小舟富士においてトレッキングを行いました。参加者たちは慣れない山道に四苦八苦していましたが、講師の指示をよく聞いて行動し、無事山頂にたどり着くことができました。小舟富士山頂からは緒川地域の風景だけでなく、遠くに茨城県庁も見ることができ、参加者たちの驚いた様子がうかがえました。



▲小瀬富士山頂で記念撮影

午後は、緒川総合センターに向かい、苔玉づくりを体験しました。講師の方の実演を見ながら、苔に丁寧にテグスを巻いて自分だけの苔玉を作り上げていきました。

参加者は今回の体験を通して、市の貴重な風景を心に刻み、さらに園芸について理解を深めました。



ボランティアの声



茨城大学2年 子どもふれあい隊 岡部 千絵子

今回、初めてお宝発見事業に参加しました。トレッキングは、子どもたちと楽しくお話ししながら登り学生が逆に元気をもらっていました。無事に登頂することができ、誰一人として怪我がなく終えることができました。とても貴重な経験になりました。

9/20

赤ちゃん触れ合い体験学習

第二中学校3年2組の生徒が、家庭科の授業の一環で、生後3～4か月の赤ちゃんに触れ合いました。

普段赤ちゃんに触れ合う機会のない生徒も赤ちゃんを抱いたりあやしたり、触れ合うことを通して命の尊さを学ぶことができました。

先生は「この体験で命について考え、自分も友達も大切にすることを覚えてほしい」と話していました。次回は10月に3年1組、12月に3年3組の生徒が赤ちゃんふれあい体験を行います。



▲育児の大変さ楽しさについても学びました

9/20

ふれあいキャンパス

県立小瀬高校で、連携型中高一貫教育の生徒交流事業のひとつとして、第7回ふれあいキャンパスが行われました。明峰中学校、御前山中学校、小瀬高校の全校生徒が参加。中学生は、希望する科目に高校生と一緒に参加しました。高校生が中学生のサポートをしたり、学校を越えた中学生同士で勉強を教え合ったり、和やかな授業となりました。参加した中学生は、「とても楽しかった。」と笑顔で感想を述べていました。



▲水の分子模型を作りました

9/22 花立山星まつり

花立自然公園で、第28回花立山星まつりが開催されました。小学生星まつりポスターコンクールの表彰式が行われた後、美スターや天体望遠鏡から星を眺める体験や手作り望遠鏡教室が開かれ、たくさん子ども達が星や惑星などに親しみました。



▲美和地域のマスコットキャラクター「スタッピー」も大人気

9/23 那珂川 カヌーフェスティバル2018

常陸大宮市と城里町で設立する御前山・那珂川広域連携協議会主催の「カヌーフェスティバル2018」が、昨年に引き続き開催されました。131人の参加者が、那珂川の川面をわたる心地よい風を感じながら、カヌーやラフティングボートを楽しむ姿が見られました。11月24日(土)にも第2弾が予定されています。詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲ラフティングボードを楽しむ参加者

9/25 行政相談出前教室

県立小瀬高校で生徒を対象に、行政相談委員による出前教室が開講されました。

はじめに、行政相談について説明があり、その後、グループに分かれてワークショップを行いました。

ワークショップでは、日常生活で困っていることなどを出し合い、最後に発表をしました。

生徒たちは、身近に相談できる相手がいるという行政相談制度を知った良い機会になったようです。



▲ワークショップで発表する生徒

子育て応援サイト

◆「ハッピー子育て」◆

「ハッピー子育て」には、市の行政サービス情報や子どもの緊急時の連絡先、子育て関連施設・窓口など、子育てに必要な情報がいっぱい！WEB サイトは「常陸大宮市ハッピー子育て」で検索、または市ホームページのバナーから、アプリは下記のコードからダウンロードしてください。

Google Play からダウンロード



App Store からダウンロード



2012(c)ASUKOE Partners, Inc.

子育て応援アプリ配信中！

9/30 消防ポンプ操法競技大会県北地区大会

辰ノ口消防広場で、第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県北地区大会が開催されました。当日は台風24号の影響を受け雨が断続的に降る中、9市町村から参加があり、各市町村の大会を勝ち上がってきた消防団の精鋭たちが、日頃の訓練の成果を発揮すべく、一挙手一投足に気を配り競技に取り組んでいました。

ポンプ車操法の部で優勝したのは、本市から出場した第16分団(御前山地域)、小型ポンプ操法の部の優勝は天子町でした。

また、小型ポンプ操法の部では、本市から出場し



▲ポンプ車操法の部優勝の第16分団

た第11分団(美和地域)が準優勝しました。

ポンプ車操法の部優勝の本市第16分団は、11月17日に茨城県立消防学校で行われる自治体消防制度70周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会に出場します。

○市消防団では、随時団員を募集しています。年齢18歳以上で本市に居住または勤務している方なら、男女を問わず入団出来ます。詳しくは、消防本部総務課までお問い合わせください。(☎53-1152)



▲小型ポンプ操法の部準優勝の第11分団

9/4~21

市議会定例会

平成30年第3回常陸大宮市議会定例会が開会されました。この定例会では、次の議案(市長提出議案)の審議が行われ、それぞれ認定、同意及び可決されました。

平成29年度決算

- 常陸大宮市一般会計歳入歳出決算・特別会計(10会計)歳入歳出決算の認定について
- 常陸大宮市上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

条例

- 常陸大宮市税条例等の一部を改正する条例

平成30年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計(5会計)補正予算

その他

- 工事請負契約の締結について(辰ノ口橋橋梁耐震補強工事、デジタル防災行政無線システム(同報系)整備工事)
- 公平委員会委員の任命について
石崎 道夫さん、檜山 英夫さん、武田 隆志さん